

令和6年2月定例会 一般質問（概要）

令和6年3月4日（月）

質問者：中川 嘉彦 議員



大阪維新の会、大阪府議会議員団の中川嘉彦です。
通告に従い、順次質問させていただきます。

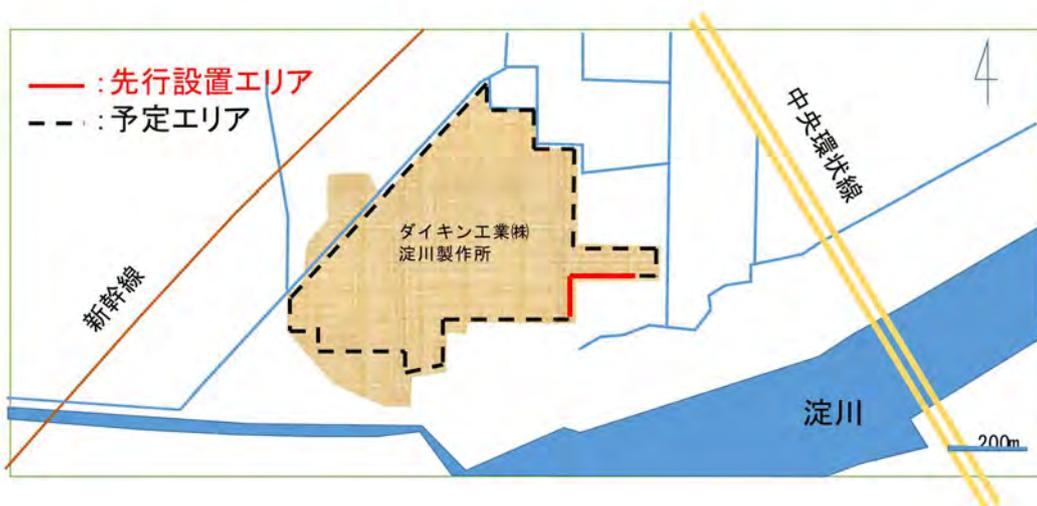
1 PFOA による地下水汚染問題

まず初めに、PFOA による地下水汚染問題についてお伺いします。

摂津市の太中浄水場において、水道用水として利用している地下水から PFOA が検出されました。PFOA 濃度は年3回調査していますが、昨年夏、PFOA 濃度の上昇がみられました。市においては、暫定指針値を下回るものの濃度の高かった1本の井戸の取水を直ちに停止し、水質も頻度を上げて監視しているため、摂津市の水道水としては安全であるとのことでした。

この1本の井戸については、地下水の流れが目に見えない上、ダイキン工業からの距離は2キロメートル以上あることもあり、ダイキン工業による汚染との因果関係は不明とのことですが、ダイキン工業周辺は全国的にも高濃度に汚染されている地域があります。

ダイキン工業(株)による遮水壁設置計画



更なる汚染の拡大を防止するには、敷地境界付近に遮水壁を設置する計画を着実に進める必要があります。

現在の進捗状況と府の対応はどうなっているのか、環境農林水産部長にお伺いします。

(環境農林水産部長答弁)

○ 府は、これまでも摂津市と連携して、ダイキン工業が実施する敷地内の地下水のくみ上げと浄化処理が適切に行われていることを確認するとともに、恒久的な流出防止対策の早期実施等について要請してきたところ。

○ 恒久的対策については、昨年11月にダイキン工業が遮水壁の設置工事に着手したところであり、その後浄化設備の増強を行うなど、段階的に工事を進めていくとしている。

○ 府としては、今後もこれらの対策の着実な実施を要請していくとともに、遮水壁工事の実施状況について適宜確認するなど、PFOA問題へのダイキン工業の対策を促していく。

PFOAやPFOSは、過去から工業製品として広く使用されていたこともあり、特定の発生源なく検出される可能性も考えられます。

令和2年4月に厚生労働省が、PFOAやPFOSを、水道水の水質管理目標設定項目に位置づけ、その暫定目標値が定められたことを受け、府は、令和2年度に、府域の一部の浄水場の水道水について、PFOAやPFOSの水質調査を行われました。

そこで、府域水道におけるPFOAやPFOSの現在の状況について、健康医

療部長にお伺いします。

(健康医療部長答弁)

- PFOS、PFOAについては、水道法に基づく検査義務はないが、府内の全ての水道事業において、自主的な水質検査を実施しており、いずれも水質管理の目標値を下回っている。
- これらの検査結果については、各水道事業体等のホームページで公表されており、府としては、今後とも、適切に水質調査がなされるよう、助言・指導を行っていく。

PFOAやPFOSについては、現在、厚生労働省及び環境省の検討会において、専門的知見に基づき、水質基準等の検討が行われているところです。

今後とも、国の動向を踏まえながら、水道水の適切な管理に努めるとともに、地下水汚染については、引き続き、関係市等と連携し対応するよう要望しておきます。

2 淀川沿川のにぎわいづくり

次に、淀川沿川のにぎわいづくりについてお伺いします。

新幹線公園



私の地元、摂津市は、新幹線公園や新幹線鳥飼車両基地などの魅力的な地域資源を有しているとともに、自然豊かで府民の憩いの空間となっている淀川に接しており、これらを活かせば、多くの観光客を呼び込むことができるのではないかと考えています。

鳥飼車両基地



3

自然豊かで府民の憩いの空間となっている淀川



4

淀川においては、現在、国が淀川大堰閘門の整備を進めており、これが完成すると、大阪湾から京都方面まで舟運での往来が可能となります。舟運は、地域資源を活用した沿川の集客において重要な役割を果たすことが期待出来る取組みです。

摂津市の鳥飼船着場周辺では、水辺に親しみ市民が交流する「淀川わいわいガヤガヤ祭」が盛大に開催されています。ぜひ、このような取組みを沿川全体に広げていてもらいたいと思います。

淀川クルージング



5

そこで、淀川舟運の活性化に向けた沿川のにぎわいづくりに関する取組みについて、大阪都市計画局長にお伺いします。

(大阪都市計画局長答弁)

○ 淀川舟運の活性化については、様々な主体が連携し、ソフト・ハードの両面から取り組むことが重要と考えており、沿川の船着場や河川敷などを活用したにぎわいづくりや魅力の情報発信に努めてきている。

○ 具体的には、国が設置し本府も参画する「淀川舟運活性化協議会」を中心に、十三や枚方など船着場周辺において、にぎわいを創出する「かわまちづくり」を推進するとともに、舟運やサイクリングなど様々なアクティビティで地域を繋ぐイベントや社会実験に取り組んでいる。

○ また、本年3月下旬には、民間団体や市町と連携した、新たな取組として、八軒家浜から枚方船着場まで約 24 kmの区間において、参加者がランニングの後、サップや船に乗り換えて水辺を楽しんでいただくイベント「京街道 Yodogawa RUN&SUP Challenge 2024」を実施する予定。

○ 引き続き、国や沿川市町、民間団体等と緊密に連携しながら、舟運活性化に向けた淀川のにぎわいづくりに積極的に取り組んでいく。

3 国立健康・栄養研究所との取組み

次に、国立健康・栄養研究所との取組みについてお伺いします。

皆さん、「フレイル」をご存じでしょうか。

フレイルについて

フレイルとは

年齢とともに心身の機能が衰え始める状態をフレイルといいます。

体や心のはたらき、社会的なつながりが弱くなった状態のこと
「フレイル」を知って早くから予防することで、健康な状態に戻ることができます！



フレイルは「運動」、「栄養」、「口腔」、「社会・心理」の4つの機能の低下によって起こります。

※大阪府ホームページより

フレイルとは、年齢とともに心身の機能が衰え始める状態、体や心のはたらき、社会的なつながりが弱くなった状態のことです。「運動」、「栄養」、「口腔」、「社会・心理」の4つの機能が低下することによっておこるため、フレイルについて知り、早くから予防することで、健康な状態に戻ることができます。

さて、昨年3月、私の地元、摂津市に国立健康・栄養研究所、いわゆる健栄研が移転してきました。

国立健康・栄養研究所



2023年3月 健都イノベーションパークNKビルに移転
最寄り：JR京東線 岸辺駅

- ✓ 健康・栄養・運動の研究をあわせ持つ唯一の国立研究開発法人
- ✓ 長年の研究による豊富なデータを収集・蓄積するとともに、専門知識・ノウハウを持つ研究者が多数在籍



※国立健康・栄養研究所からの公表データを基に独自に作成

健栄研は健康・栄養・運動の研究をあわせ持つ唯一の国の研究機関として、国民の健康課題の解決に寄与しており、府が進めるフレイル予防についても連携して事業を進めてきたと聞いています。

移転が完了し、今年度から大阪で本格的に事業を実施していますが、今年2月に摂津市において健栄研を中心に多くの大学・研究機関と協力して18歳以上の75,000人の市民を対象に「健康・栄養とウェルビーイングに関する調査」を実施していると聞いており、この調査から、健康づくりに係る多くの知見が得られるのではないかと期待しているところです。

摂津市民の健康・栄養とウェルビーイングに関する縦断調査

健康で住みやすいまちをつくるため、医薬基盤・健康・栄養研究所は摂津市と協力し、市民の暮らしや地域の特徴等を明らかにする調査を行います。調査結果は、市民の暮らしの健康づくりにつながる効果的な取り組みへの提案、将来の政策やまちづくりに活かします。さらに今後の日本や世界の健康づくりにつながるとも大切な調査です。

是非、ご協力くださいようお願いいたします。

対象となる方 摂津市に住民票のある18歳以上の方
(暫く3以上の認定を受けた方を除きます)

調査方法

- ①調査票（アンケート）を
2月下旬より、ご自宅に順次配達
- ②説明文書を読んで、調査同意のサイン
- ③ご自身で回答
(調査票のご家族間での取り違えにご注意！)
- ④返信用封筒に入れ、
3月29日（金）までに
ポストへ投函（消印有効）

ご回答者の中から抽選で
2,000名に1,000円分のクオカードをプレゼント！！

調査に関する詳細はこちらをご覧ください。
https://www.nibiohn.go.jp/eiken/settsu_study/

※国立健康・栄養研究所ホームページ「摂津スタディ」より

～調査研究にご協力（同意）いただいた方へ今後の予定～

- R6年2～3月 **アンケートに回答**
 - ※調査票の発送はクオカードの発送を待ってかえさせていただきます。
- R6年夏ごろ **集計結果のお知らせ**
 - ※アンケートの回答を集計・分析し、皆様にお知らせします。
- R6年秋以降 **健康・栄養に関する調査や講演会のご案内**
 - 参加自由
 - 体力・身体活動量、脳機能、認知症、栄養などの測定会のご案内
【測定会に参加された方には、個人の結果をお返しします】
 - ※アンケート調査とともに、同意いただいた方の摂津市が管理する公的データ（医療、健康、介護保険、死亡等）の情報を分析させていただきます。

調査票が届かない、紛失された方は再送いたします。
下記問い合わせ窓口までご連絡ください。

調査票お問い合わせ窓口

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 身体活動研究部
メール: shintai-mak@nichin.nihn.go.jp

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所とは
1920年に内務省の「栄養研究所」として発足した栄養学に関する世界最初の国立の研究機関です。公衆衛生の向上及び健康増進を目的とし、疫学の確立・推進及び栄養、食生活に関する調査、研究を行っています。毎年実施する国民健康・栄養調査や、認知症表示調査、特定保健指導（トコロ）にも活用される健康増進事業の委託が受けられている等の実績を有しています。また、5年ごとに改訂される食生活指針や、現在改訂中の身体活動・運動の基準の策定にも貢献しています。

1989年に国立健康・栄養研究所に改称。2015年に医薬基盤研究所と統合により設立された国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の構成機関となり、2023年に大阪府摂津市の北大阪健康医療都市（健康）に移転しました。

協力機関：●摂津市 後援機関：摂津市医師会・摂津市歯科医師会・摂津市薬剤師会・大阪府

このアンケートは「SETTSU STUDY」と銘打ったもので、生活習慣・健康・栄養・心身について今後20年間追跡調査する大規模なもので、1自治体の18歳以上を丸ごと長期間対象にする日本初の画期的な取り組みです。

このように今後はさらに地の利を活かした連携を進めることにより、府民の健康増進にもつなげられると考えますが、府として健栄研と連携してどのように取組みを展開していくのか、これまでの取組みの内容と合わせて健康医療部長にお伺いします。

(健康医療部長答弁)

○ 大阪府ではこれまで身体活動の観点から、健栄研とともに全国に先駆け、「働く世代からのフレイル予防」に取り組んでおり、啓発資料の作成や研修会の開催などを通じて、市町村や地域での取組みを支援してきた。また、企業とも連

携し、従業員の健康診断にあわせたフレイルチェックの導入を行うなど、職域でのモデル事業も進めてきたところ。

○ 一方、栄養の観点からは、「自然に健康になれる持続可能な食環境づくり」をめざして、来年度新たに、健栄研の知見を得ながら、学生食堂等の利用者が自発的によりよい選択を行うことで、無理なく野菜を摂取できるような、効果的な手法を検討する。

○ 健栄研の大阪移転を契機に、さらに連携強化を図り、今後もデータやエビデンスを活用しながら、身体活動・栄養の観点からの健康づくりに資する効果的な施策の推進を図っていく。

今回の摂津市調査で得られる結果や研究所の有する知見も活かしながら、今後も健栄研と連携して府民の健康づくりに向けてしっかりと取り組んでいただくことを期待します。

4 摂津市周辺における都市整備事業

次に、府道大阪高槻京都線の千里丘交差点における渋滞対策についてお伺いします。

私の地元摂津市域の JR 千里丘駅西口周辺では、摂津市による「千里丘駅西地区再開発事業」が進められており、駅前の交通結節機能の強化及び都市機能の充実による賑わいの創出が期待されています。



一方で、この再開発が進められている地区の北側に隣接する府道大阪高

槻京都線の千里丘交差点付近では、常に渋滞が発生しております。摂津市の再開発事業が完成すれば、更に渋滞が悪化するのではと懸念しています。

府道大阪高槻京都線 千里丘交差点 渋滞の様子



10

そこで、現在渋滞している千里丘交差点において、対策が必要と考えますが、都市整備部長の所見をお伺いします。

(都市整備部長答弁)

- お示しの府道大阪高槻京都線の千里丘交差点については、地元市から、慢性的な渋滞が発生しており、対策を講じるよう、ご要望をいただいているところ。
- 府としては、現在、進めている府道大阪高槻京都線に平行する、都市計画道路十三高槻線の整備により、交通の分散が見込まれるものと考えていることから、今後、開通後の状況を調査・分析の上、必要に応じ対策を検討していく。

次に、万博記念公園駅前周辺地区活性化事業における交通環境整備についてお伺いします。

大阪府が推進する大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表する新たなスポーツ・文化の拠点づくりについて、昨年 7 月に府と事業予定者で基本協定を締結し、本事業実施に必要な環境アセスメントについて、環境取組内容など吹田市と具体的な協議を開始するなど、鋭意、取組まれていると聞いています。吹田市はもちろんのこと、私の地元である摂津市の更なるにぎわい創出のため、本事業には、大変期待をしています。

一方で、万博記念公園への鉄軌道のアクセスはモノレールだけであり、大きなイベント時にはモノレールに加えて、マイカーでも多くの方々が来場されている実態があります。



11

実際に、私は昨年のゴールデンウィークにモノレールに乗り万博記念公園の約 1 万人規模の花火イベントに参加しましたが、本当に移動は困難でした。今後、大規模アリーナが開業し、最大収容人数である 1 万 8 千人規模のイベント等と重なれば、かつ、重なることはないと思いますが、ガンバ大阪スタジアムでの 4 万人規模のイベントも重なるようなことがあれば、現在の交通網では、さらなる交通混雑が予想されるため、大変懸念しています。

いずれにしても、レガシーである万博記念公園が、さらに地域に愛される公園になるためにも、誰もがアクセスしやすい交通環境づくりが必要です。そこで、本事業における交通環境整備について、現在どのように進めているのか、府民文化部長にお伺いします。

(府民文化部長答弁)

○ 万博記念公園駅前周辺地区活性化事業の実施にあたっては、地域住民や施設利用者のアクセスの確保等、開業後の円滑な交通環境の確保が重要であると考えている。

○ そのため、事業予定者が策定する事業計画案を踏まえ、アリーナの来場者数やモノレール乗降者数等のデータをもとに、モノレールの輸送力を検証するなど、更なるアクセスの充実方策について、モノレールなど交通事業者等との協議を進めている。

○ さらに、事業予定者とともにアリーナ開業後の交通量の変化を予測・分析し、外周道路の一部車線拡幅に加え、事業予定地への新たな進入ルートなど、本事業に伴う交通環境への影響が最小限となるよう、具体的、効果的な整備手法に

ついて検討を深めているところ。

○ 今後、事業予定者による環境アセスメント等の手続の進捗にあわせて、地元市や交通事業者、都市整備部等の関係部局とも連携、協議しながら、地域住民のご理解とご協力が得られるよう、交通環境整備を進めていく。

万博記念公園周辺地区活性化事業が、大阪・関西の成長・発展に寄与するものであると期待しています。事業の成功のためには、交通網の懸念をなくすことが重要です。

鉄道については、大阪メトロ今里筋線を延伸する必要があると思います。バスという手段もあると思いますが、私は、抜本的な交通対策は、今里筋線の延伸以外ないと考えます。

今里筋線延伸の重要性は、北摂市長会の中で後藤吹田市長も要望されていると聞いています。

また、先ほどの“大阪高槻京都線の千里丘交差点の渋滞問題”も、今でも渋滞しているのに新たにアリーナや住宅ができると、最寄り駅である JR 千里丘駅までの動線を考えると、さらに渋滞するのは、目に見えています。そこで、歩行者の安全とスムーズな歩行を担保するため大阪高槻京都線にオーバブリッジ(歩道橋)を設置して通過車両の妨げにならないようにすることを要望しておきます。

次に、府道正雀停車場線の横断歩道橋の必要性についてお伺いします。

私の地元摂津市域にある府道正雀停車場線は、JR 千里丘駅南側のアンダーパス部を含め、道路の拡幅整備が平成 21 年 11 月に完成しました。

当時、拡幅整備に伴う地域分断の解消に向け、府道の南側にある寿商店街から JR 千里丘駅周辺までの区間については、歩行者等のアクセスを確保するため、横断歩道橋の設置の要望があったと地元の方から聞いています。



12

令和5年8月、私から府道を管理する茨木土木事務所に、歩道橋の整備の可能性について問い合わせたところ、土木事務所からは「動線が確保できているので、整備する予定はない」と伺いましたが、道路が完成した現在においても、地元商店街の方々からは、今後、大規模な開発等を契機として「府有地を活用し、横断歩道橋が設置される」ことを期待する声も聞いています。

そこで、改めて、横断歩道橋の必要性について、都市整備部長にお伺いします。

(都市整備部長答弁)

○ 大阪府では、横断歩道橋について、車道の幅員が広いことで、歩行者の横断に時間がかかる等、交通の円滑化や歩行者の安全確保の観点から、やむを得ない場合に限って設置してきたところ。

○ お示しの府道正雀停車場線の当該区間については、本路線の拡幅整備にあわせ、整備した歩道により、地元商店街から JR 千里丘駅周辺への歩行者等のアクセスが確保されていることから、ご要望のあった横断歩道橋の必要性はないものと認識。

正雀停車場線には、植樹帯として管理されている、約 100 m²の土地があります。当該土地は、道路区域であり、売却する予定はないと聞いていますが、ご覧の通り、駅前の立地の良い所なので、今後、街の活性化のためにも、有効活用について検討いただくよう要望します。

府道正雀停車場線の府有地（植樹帯）



13

次に、都市計画道路十三高槻線「正雀工区」の今後の進め方についてお伺いします。

都市計画道路十三高槻線は、大阪の都心部と北摂地域を結び、大阪の骨格を形成する重要な路線です。



14

この路線のうち、吹田市から摂津市に至る約 1.3km の区間が「正雀工区」として整備されており、私の地元摂津市域においては、平成 26 年4月に暫定供用されたものの、残る吹田市域が供用することで、初めて大阪都心部へのアクセスが可能となることから、地元から1日も早い供用が望まれています。

す。

このような中、「正雀工区」については、令和2年2月議会において、本線部が令和5年度末に供用されることが示され、事業が進められてきましたが、今年1月にシールドマシンが地下の支障物と接触し、供用が延期されるとお聞きしました。



本区間はとりわけ事業効果が高く、地元の期待が大きい路線と考えており、この度の供用延期については、非常に残念です。

そこで、改めて、都市計画道路十三高槻線「正雀工区」の供用が延期になった原因と理由、供用の見通しについて、都市整備部長にお伺いします。
(都市整備部長答弁)

- 都市計画道路十三高槻線の「正雀工区」については、本路線の整備に併せ、本線部の地下で進められていた下水道整備工事において、支障物が見つかり、その撤去・復旧のために時間を要することとなり、やむを得ず供用を延期したものの。
- 供用の見通しについては、下水道整備工事の再開のメドが立つ今年夏ごろまでに、工程を精査する予定。
- 今後、できるだけ早期に新たな供用時期を公表し、それが確実に履行できるよう、関係者と密に連携しながら取り組んでいく。

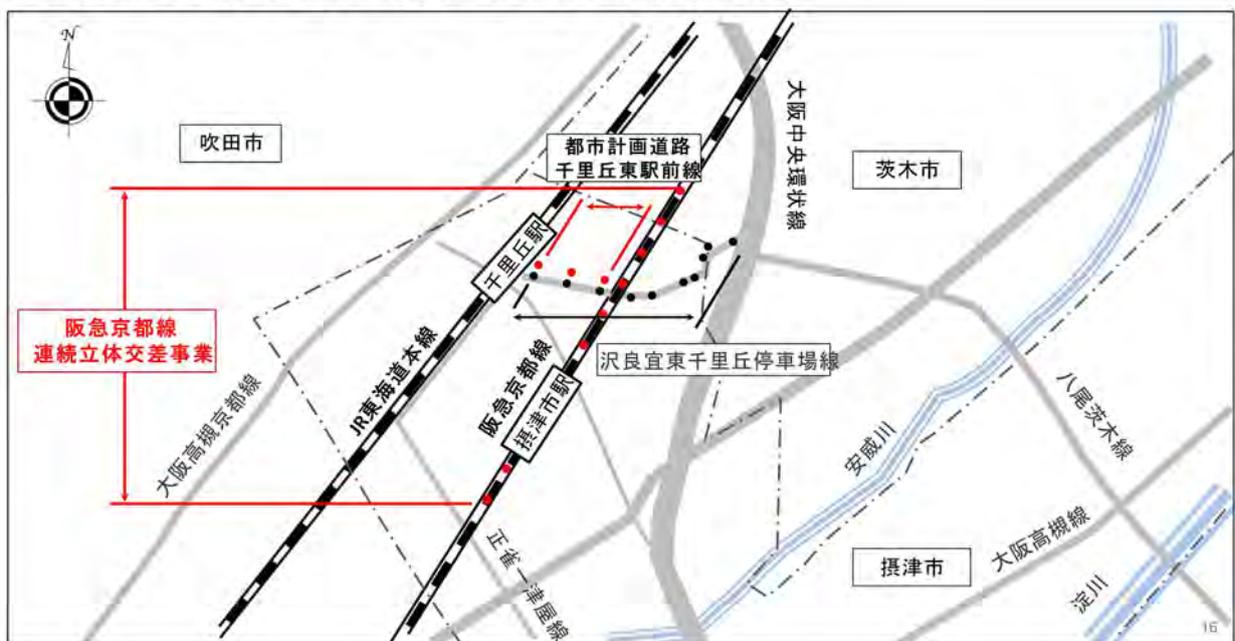
今後、他の事業においても、同様の事が起こらないよう、責任の所在をはっきりさせて、関係者と連携して再発防止に取り組み、着実に事業を進めていただくことを要望しておきます。

最後に、阪急京都線連続立体交差事業の進捗と都市計画道路千里丘東駅前線の取組状況についてお伺いします。

私の地元である摂津市では、阪急摂津市駅を含む約 2.1km の区間で、阪急京都線連続立体交差事業が進められています。

連立事業に関連して、府と摂津市が協力して整備を行う予定の JR 千里丘駅から阪急京都線を結ぶ都市計画道路千里丘東駅前線については、JR 千里丘駅へのアクセスとして重要な路線であることから、連立事業の完成にあわせて整備を行う必要があると考えています。

位置図（阪急京都線・都市計画道路千里丘東駅前線）





17

そこで、阪急京都線連続立体交差事業の進捗状況と都市計画道路千里丘東駅前線の取組状況について、都市整備部長にお伺いします。

(都市整備部長答弁)

- 阪急京都線連続立体交差事業については、現在、摂津市の協力を得て、用地買収を進めており、本年1月末現在で約6割の用地を確保したところ。併せて、用地が確保できた箇所から、文化財調査や支障物の撤去工事を進めている。
- 引き続き、用地取得を進めるとともに、摂津市駅の仮駅舎工事に先立ち必要となる駅前広場の移設工事に着手するなど、摂津市、阪急電鉄株式会社とともに事業推進に取り組む。
- また、都市計画道路千里丘東駅前線については、現道が2車線で歩道が未整備となっていることから、拡幅整備に向け、摂津市と締結した用地取得や工事実施に係る役割分担に関する覚書に基づき、今後、連立事業の進捗状況などを踏まえ、整備手法などについて協議を行っていく。



連立事業の着実な推進とともに、関連する都市計画道路千里丘東駅前線を連立事業と同時に整備してもらえるようしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

また、都市計画道路千里丘東駅前線に続く、府道沢良宜東千里丘停車場線の阪急京都線から大阪中央環状線までの区間についても、現道に歩道が無いことから、自転車や歩行者の安全を確保するために拡幅整備が必要と考えており、整備されている府道八尾茨木線とスムーズに直結できるよう、合わせて要望しておきます。

府道沢良宜東千里丘停車場線（歩道が無い場所）



18

これで私の一般質問を終わります。
ご清聴ありがとうございました。